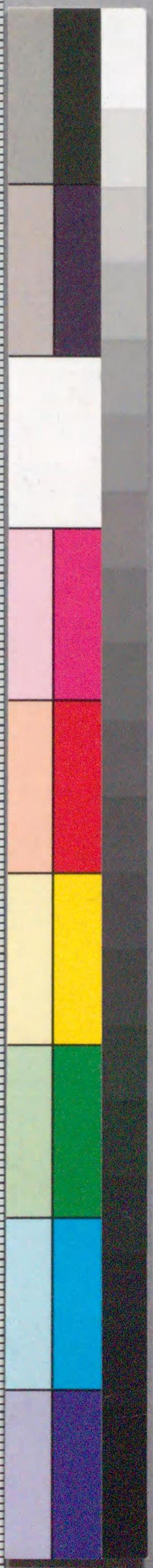


皇下甸虫干曾我

207  
298



国立国会図書館 皇下甸虫干曾我 : 3卷 207-298

ガラス使用

泉下句虫干曾我

宗修

八二母

寛政五年  
泉下句虫干曾我  
宗修

207  
298

上巻の中巻の下巻

寛政五癸丑春

千穂萬歳

大叶

作者

山東京傳



赤本他の赤紙は右風紙葉  
假者此拾大破虎あが虫初  
新瓦海は独も能る偽の文結

曾我の村

正月おは今も保る霧の暖簾  
此屋北棟小林のあきひか  
将場屋の板下の名云成写と

芝居の村

北尾が等千系ぬ巻が幕市  
月星月よ是も能る書の名雨  
○草紙の画工ハ

根巻の村

虫行









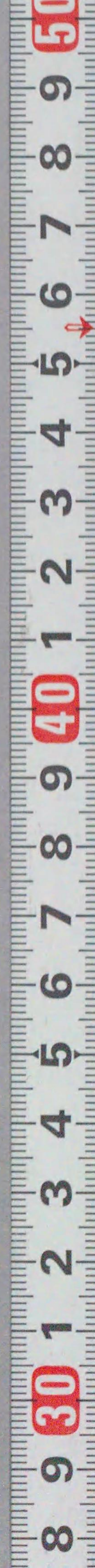
















木下句虫干曾我 3卷 207-298

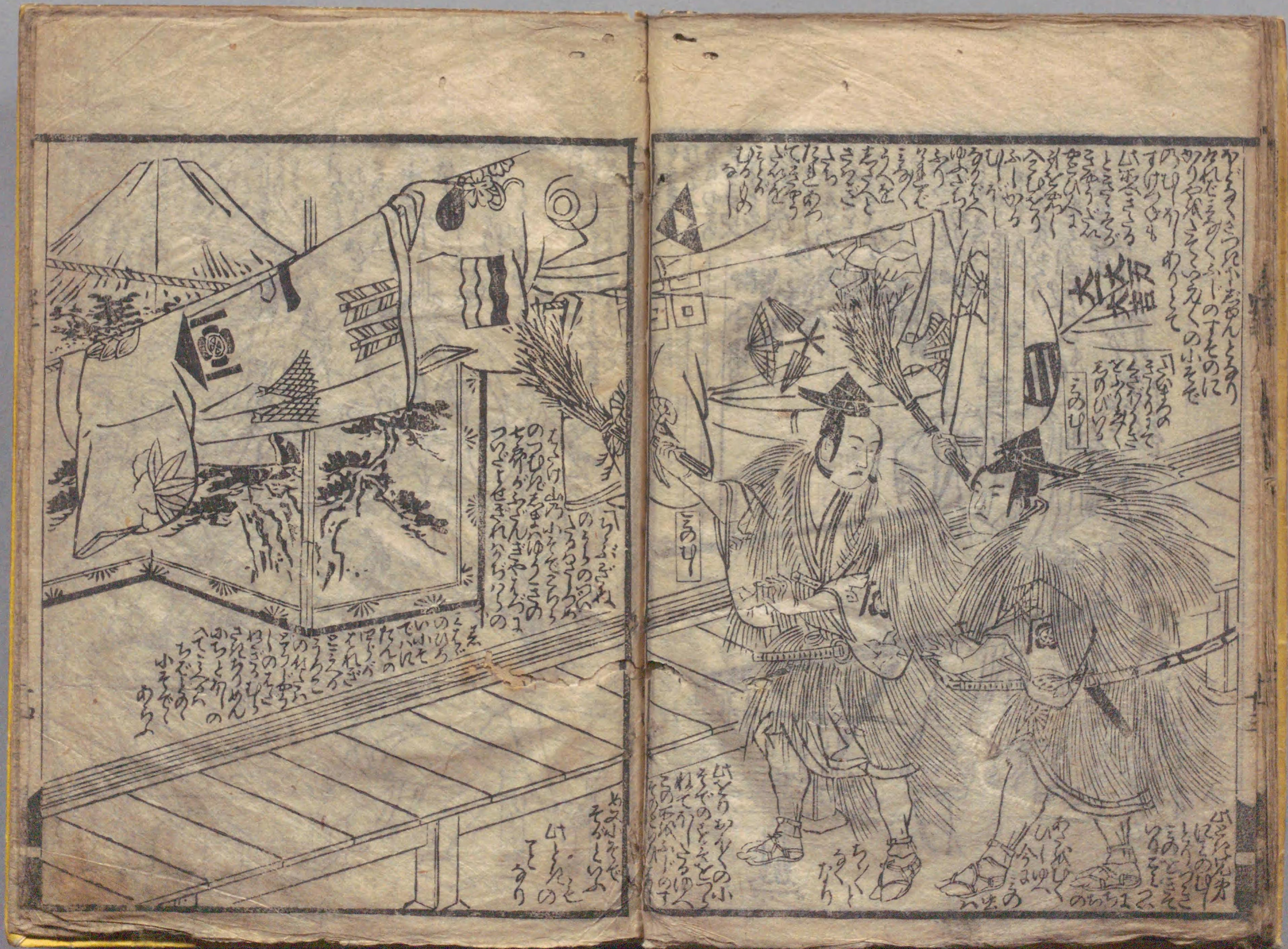


木下句虫干曾我 3卷 207-298













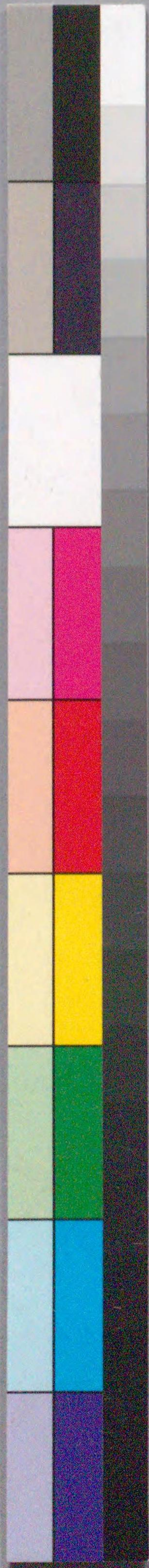
207  
298



京傳作







国立国会図書館 臯下旬虫干曾我：3巻 207-298



ガラス使用

